

りゅうかい

2016
No. 279



- ◆ トップエッセイ「青春18きっぷの小さな旅」
株式会社沖縄輸送サービス 常務取締役 嘉数 昇善
- ◆ 中城湾港新港地区に物流センター整備へ
- ◆ 「海の日」海事関係功労者表彰
- ◆ ダイハツ商品車輸送安全講習会
- ◆ 第2回船主安全会議
- ◆ 第二十二愛廣丸引退
- ◆ エコドライブ講習
- ◆ グループ便り

- ◆ 琉球海運グループ各社観月会
- ◆ オリオンビアフェスト2016
- ◆ 支店(OFF)探訪
- ◆ 出向レポート
- ◆ 乗船研修記
- ◆ 赴任レポート／定年退職／人事
- ◆ 第3回健康づくり講座
- ◆ かわいい天使誕生／三ヶ月会／編集後記

夢とくらしと文化をはこぶ

琉球海運株式会社

琉球海運グループ

沖縄港運株 宮古港運株 八重山港運株 沖縄荷役サービス株 株 沖縄急送
株)沖縄輸送サービス 株)九州輸送サービス 株)きょうはい 国際輸送株 琉海リース株

俺のま～さん飯 めし

一度沖に出てしまえば、携帯の電波もテレビの電波もない船では、食事が大きな楽しみの1つです。なかなか垣間見る事の出来ない船での生活を知るために、司厨長が腕をふるって作る食事を取材したい！あわよくば食べたい！

第4回は、前里司厨長のま～さん飯を教えて頂きました。今回のメニューは、沖縄そば・ホタテ天ぷら・もずく寒天など、盛り沢山です！

Q 今回の料理でこだわり・隠し味はありますか？

A 沖縄そばは出汁をとるのに8時間、ソーキも8時間くらい煮込んでいる。もずく寒天には黒糖をいれて甘みをだし、できあがった寒天に蜂蜜と黒糖で作った特製タレをつけます。ホタテ天ぷらはおつまみからアレンジしました。

Q 日頃の調理で気をつかっていることはありますか？

A 乗組員の健康が一番！健康のことを考え、野菜を多く使って料理を作ることを心がけている。砂糖の代わりにカロリー、糖類ゼロの甘味料や黒糖やはちみつをつかうなどの工夫もしています。

Q 日頃の業務で大切にしていることはありますか？

A 仕事をする上で、仕事仲間との信頼関係を築くことは大切！仕事仲間のおかげで仕事に対する自信にもつながり、仲間を大事にし楽しく仕事をすることで料理の腕もあがる。仲間を大事にして仕事をするのが一番。

～取材を終えての感想～

沖縄そばのスープは8時間も煮込んでいることもあり、出汁がすっごく利いていて最後の一滴まで残さず飲みたいほどの美味しさでした。ホタテ天ぷらはチーズとしその葉の相性が抜群で贅沢な一品です！もずくをデザートとして食べるもずく寒天は初めて口にしましたが、健康的でダイエット食にもなるので良いですね。今回は、乗組員の健康を常に想う前里司厨長の愛情たっぷり思いやりのこもった料理でした！

司厨長 前里さん

沖縄そばともずく寒天
(取材当日10月17日は「沖縄そばの日」でした！)

今回取材に応じていただきました司厨長の前里さん、ありがとうございました。次回もお楽しみに！(このコーナーは船員の皆様のご協力で成り立っています。取り上げて欲しい一品がありましたら、ぜひ情報をお寄せください。)

*『まーさん』とは、沖縄の方言で『おいしい』を意味します。

平成三年五月に㈱沖縄急送から㈱沖縄輸送サービスに出向転籍、沖縄を離れ早四半世紀余り経ちました。

当初は自宅と勤務地の江東区有明埠頭を往復の毎日。たまの休日に銀座、新宿、渋谷等々の繁華街を散策し、ある程度の地理地名が分かるたびに面白味も深まり、都営バスの一日乗車券五百円を駆使し、都内の神社・寺・博物館・庭園等々情緒ある建物風景を堪能したことで、遠出の旅に想いが深まりました。

きつぶの 小さな旅

株式会社沖縄輸送サービス
常務取締役 嘉数昇善



トリップエッセイ

線に乗り換え後、約七時間乗車の朝八時新潟駅到着でした。車中は小生のいびき迷惑を考慮し、一睡もできず二人とも完全な寝不足。新潟市内で観光名所の萬代橋近くの公園ベンチで約一時間の仮眠をとり、その後新潟駅から磐越西線のJR列車で田園のどかな風景と遠く山並みを眺めながら会津若松駅に到着。私鉄の会津鉄道（青春18きっぷは使用不可により別切符購入）に乗り変え、湯野上温泉駅で下車、バスに乗り換え観光地「大内宿」に到着。大内宿とは江戸時代の町並みを今に残す国選定重要伝統的建物群保存地区で、会津城下と下野の国（しもつけのくに、現栃木県日光市・今市市）を結ぶ約百三十km・三十二里の区間中、会津城下から三番目の宿駅として一六四〇年ごろ整備された宿場町とのこと。会津藩主の江戸参勤交代と江戸廻米の重要な宿駅で、旅人や當時会津藩と友好関係にあつた米沢藩（山形県）、新発田藩（新

潟県）なども頻繁に利用した重要な宿場である大内宿では、下野街道沿いに昔ながらの茅葺き屋根民家が三十軒以上並ぶ様子が極めて珍しく、現在も年間百万人以上の観光客が訪れ賑わいを見せております。宿場民家も観光土産店、食事処が多く、山からの湧水が年中通りの両端の小川に流れ、冷たい流水に吊るした網のトマト、胡瓜が何ともいえない美味しさだったのが今でも脳裏に浮かびます。また、食事の名物はねぎ蕎麦ですが、ねぎは奢代わりの一本で蕎麦をすりながらかじっていく食べ方で、蕎麦は美味しかったが「奢使い」ならぬ「ねぎ使い」は結構大変だった事を申し添えておきます。

会津若松駅に戻り、郡山駅十七時頃発の東北本線で黒磯経由二十三時上野駅着。約六時間の乗車に外は暗闇景色、腰は痛く眠れず、本音は特急もしくは新幹線で早めに戻りたい気持ちではありましたが、それでは青春18きっぷを

読者の皆さんも旅行が好きだという方が多くおりますでしょう。小生も福岡勤務時代は、夫婦で九州地方・中国地方をバスやレンタカーで日帰り、一泊の小さな旅を満喫しました。東京在住の学生や若者に人気があるJR青春18きっぷを購入したことから、一日JR列車乗り放題の小さな旅を計画しました。

発売期間は春季、夏季、冬季と決められ、切符は五回五枚セット一万円の販売のみで、一回一枚は販売しません。春季は三月上旬～四月上旬、夏季は七月下旬～九月上旬、冬季は十二月上旬～一月上旬と限られており、夫婦で夏季の切符二枚で日曜日に計画。行先は新潟廻り、福島県南会津地方の観光名所「大内宿」に決めました。

一日のJR列車乗り放題の旅ですので、土曜日二十四時過ぎに上野駅を出発、群馬県高崎駅二十五時頃に在来線の上越線へ乗換え、新潟県長岡駅で信越本所「大内宿」に決めました。

使用する意味がないので泣く泣く各駅停車の帰途でした。疲労困憊で自宅に戻り、次回は通常の列車で旅をしようとを考えましたが、二週間後残り三枚で親子三名、山梨の清里高原と長野の八ヶ岳麓を小旅行。麓からのひまわり畑、南アルプス連山、富士山の風景は素晴らしい景勝地、観光地があると思います。皆さんも是非東京にお越しになられたらい、青春18きっぷで一日掛けての関東、北陸、東北地方の小さな旅はいかがでしょうか。

ちなみに「青春18きっぷ」は年齢制限がありませんので、若い気持ちと体力に自信がある方にお勧めします。

【りゅうかい】279号

中城湾港新港地区に物流センター整備へ

今年度、琉球海運は中城湾港新港地区へ進出し、物流センターを整備する方針を掲げました。現在、当社は同地区の土地の取得の内定を得ており、社内にグループ戦略室を新たに設け、物流センター整備計画の策定に取りかかっています。同物流センターの建設計画に関しては、今後社内外の関係各所と調整を重ね、平成30年度中の完成・本格稼働を目指しています。

◆中城湾港新港地区への進出の背景

当社船舶は那覇港新港ふ頭へ寄港していますが、今後も貨物量の増大が見込まれており、現在使用しているふ頭内のスペースや既存の物流施設をはじめ、那覇市近郊地域の狭隘な施設では将来の需要に対応できなくなると想定されています。また、輸送コストの圧縮や品質・精度の向上といった、荷主企業からのニーズに応える体制を整える必要があります。こうした状況下で、多様な機能を備えた物流施設を整備するために大規模な土地の確保が必要だと考え、本島中部にある中城湾港新港地区への進出に踏み切りました。

◆物流センター整備・運用案について

内定済みの敷地は面積約44,000m²となっており、ここに情報処理機能、3温帯在庫管理機能、流通加工機能、店舗配送機能を備えた総合物流施設を設置する案が検討されています。これにより、在庫管理や加工、最適なタイミングでの発送などを総合物流施設で管理し、集荷から配送までのサプライチェーンマネジメントをサポートすることができます。

また、建設予定の物流センターは24時間体制での稼働を検討しており、当社の船舶で那覇港新港ふ頭へ輸送した貨物を随時運び入れ、自動化された保管庫や自動仕分装置で迅速に処理し、お客様のもとへ配送することになります。中城湾港新港地区と那覇港新港ふ頭間は約26km、時間にして約1時間の距離になりますが、同物流センターの最新設備で処理することで全体の輸送時間は短縮できるため、距離や移動時間はハンデになることがないと考えています。また、沖縄本島の中間に位置する同地区に物流センターを整備することで、本島内全域を網羅することができます。



図1. 中城湾港新港地区の位置 (国土交通省-地理院地図より)



図2. 建設予定地

*取得の内定を得た土地は、うるま市の中城湾港新港地区にあり、沖縄県が国際物流拠点産業集積地域に指定し、高付加価値の製造業や高機能の物流企业の集積を目指しています。

までの丸一日船酔いが続き、非常に辛い思いをしましたが「乗組員の気持ちを知る」という面ではとてもいい経験になつたと思います。二日目の午後からは本船の揺れも収まり、私も船に慣れたので愛知県沖当たりでワッヂを行いました。また、東京湾へ昼間のワッヂとは異なり独特の緊張感が漂っていました。真夜中の暗い東京湾で船長を始め、その他乗組員の的確な指示や合図により本船は順調に水道を進み、午前三時三十分、無事東京港有明ふ頭に到着しました。

下船してからは、東京支店、福岡支店や関連会社への挨拶回りと共に、各航路に関する講習を受けました。各支店での説明はとても丁寧でわかりやすく、支店ごとの特色が見受けられ非常に参考になりました。大阪支店に行けなかつたのが非常に残念です。

帰りの「しゅれい」では台風十号に繞き台風十一号が我々の行く手を阻み、その影響を受ける形となつてしましました。しかし、しゅれいではかりゆしほど揺れはありませんでした。しゅれいにはスタビライザードと呼ばれる揺れ防止のフィンがついていて揺れが軽減されたため、機関室の見学やワッヂもじっくりと体験することができました。

への挨拶回りを行い、福岡でのモノの流れを巡ることができました。東京との違いがとても興味深かったです。

今回の研修では様々な業務を学びました。ですがそれだけでなく、船員さんの「なにか起きたときの為に船は必ず二重三重に対策をとっているんです」という台詞が表している様に、琉球海運の先輩方は場所は違えど皆一様に常に問題に備えながら業務をしている事がとてもよくわかりました。今回の研修を通して学んだ事を今後の業務の中で生かし、日々励みたいと思います。我々の為にお忙しい中時間を割いていただき、大変ありがとうございました。



おつかれさまでした

東京支店 渡邊

今回の乗船研修は台風の影響を大いに受けたこの乗船研修で得た経験を糧に今後の業務にも励んでいきます。最後に、台風にも関わらず乗船させて下さった乗組員の皆さん、お世話になった支店の皆さん、船酔いを気遣ってくれた本社の皆さん本当にありがとうございました。

企画部 嘉手苅

今回の研修は長時間の航海や他の支店に行く事が初めての私には驚きの連続でした。かりゆしで最も印象的だったのはラッシングの重要性です。当日は波が高く、それも奄美付近ではいよいよ高くなりました。某カニ漁船番組並の波（主観）に我々新入社員の殆どがダウンし、船は大きく揺れ続けました。しかし、それでもベルトに固定された本船の現在位置と速度の割り出しやワッヂなど、船会社ならではの体験をしました。特に暗幕を張り、目を暗闇に馴らしながら双眼鏡とレーダーで他船を探すワッヂ時の空気感は忘れられません。

東京支店では親川課長と渡具知主任による大阪支店の説明を、福岡支店では歓迎会と支店説明、そして外航の講習をしていただきました。それぞれの支店の業務内容や特徴を学びつつ、雰囲気の違いを感じ事ができ非常に充実していました。しゅれい乗船前には、鳥栖物流倉庫の見学や関連会社



舵を取る渡邊



東京支店にて

されたコンテナ達は微動だにしません。船員の方の「琉球は荷崩れを起こさない。ラッシングがすごいんだよ。」との説明へまさに論より証拠。積荷へのケアの手厚さをダイレクトに感じた事ができました。しゅれいでは、かりゆしでダウンしていただきました。チャートとGPSを使用した我々のために平良船長が研修スケジュールを組んでくださり、様々な実務をさせていただきました。この乗船研修で得た経験を糧に今後の業務にも励んでいきます。最後に、台風にも関わらず乗船させて下さった乗組員の皆さん、お世話になった支店の皆さん、船酔いを気遣ってくれた本社の皆さん本当にありがとうございました。